

\\ HIVや梅毒をはじめとする \\

性感染症のすべてが 簡単にわかる本



令和2年度

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業

「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究」班
(研究代表者: 喜多恒和 奈良県総合医療センター)

はじめに

性感染症のことを知りたい方、何か気になることがある方は、この本で答えが見つかります。「性感染症」は性行為(セックス)でうつるのだから、恥ずかしくて人には聞けないと思っている方、それは大きな勘違いです。セックスは若い人から高齢の人まで、だれでもしていることです。そこでうつったからと言って恥ずかしいことはありません。誰でもが感染する病気です。一人で悩まず、この本やインターネットで正しい知識を得て、早く診断を受け治療をしましょう。パートナーや周囲の人、またかわいい赤ちゃんにうつさないためにも、性感染症を知ることは大切なことなのです。



目次

part 1	性感染症ってどんな病気？	3
	性感染症はどうしたらかかるの？	4
	性感染症にかかったかもしれないと思ったらどうしたらいいの？	5
part 2	性感染症の特徴	6
	HIV 感染症	7
	梅毒	9
	性器クラミジア感染症	11
	淋菌感染症	13
	性器ヘルペス感染症	15
	尖圭(せんけい) コンジローマ	17
	トリコモナス症	19
	性器カンジダ症	20
	B 型肝炎	21
	C 型肝炎	22
	A 型肝炎	23
	アメーバ赤痢、細菌性膣症	24
	ケジラミ症	25
	疥癬(かいせん)、軟性下疳(なんせいげかん)	26
	性器伝染性軟属腫(なんぞくしゅ)	27
part 3	性感染症ではないが、妊娠や赤ちゃんに影響する一般感染症の特徴	28
	サイトメガロウイルス感染症	29
	トキソプラズマ症	30
	風疹、麻疹	31
	水痘・带状疱疹、成人 T 細胞白血病(ATL)	32
	伝染性紅斑	33



part 1

性感染症ってどんな病気？

性感染症とは、細菌、ウイルス、真菌(カビ)、原虫などが、性行為(セックス)によって性器、尿道、肛門、口などに感染する病気です。オーラルセックスやアナルセックスも含まれます。

性感染症は無症状や軽症であることが多いため、知らないままいつの間にか他の人へうつしてしまいます。

また妊娠中や出産後に、赤ちゃんにうつしてしまう母子感染にも注意しましょう。

性感染症に関する正しい知識を得て、予防方法を知り、そして早く発見して治療しましょう。



それぞれの性感染症ごとに正しい予防法を知りましょう。



性感染症はどうしたらわかるの？



性行為(通常の陰性交、フェラチオやクニニリングスなどのオーラルセックス、アナルセックス)により、精液や膈分泌液や血液に触れると、膈・口・肛門の粘膜や皮膚の小さな傷口から感染します。HIVなどは性行為の最初からコンドームを付けることで、感染を防げますが、ほとんどの性感染症では、コンドームの着用では防ぐことができません。

性感染症は無症状のことが多いので、感染していても気づかないまま、他の人へうつしてしまいます。

性感染症の中には、感染すると妊娠中や出産後に、赤ちゃんに感染させてしまうものがあります。赤ちゃんが感染すると、流産や死産になることがあります。たとえ生まれてきても、先天的な病気になっていることもあります。

症状が無くても有っても、放置しておくと症状が出て重症になることがあります。また卵管がつまったり、精子が異常になり、男女ともに不妊症になることもあります。

妊娠前に、男女ともに種々の性感染症について、かかったことがあるか、ワクチンを接種したことがあるか、免疫を持っているかどうか、治っているかどうかなどを知っておくことは大変重要です。



性感染症は無症状のことが多く、他人にうつしてしまうリスクがあります。



性感染症にかかったかもしれないと思ったらどうしたらいいの？



1 まず保健所に相談する。

- ・全国の保健所でエイズ検査は匿名、無料で受けられます。他の感染症の検査ができるかどうかや、無料が有料かなどは、保健所によって異なりますので、まずは電話で相談しましょう。
- ・保健所での手順は、受付、問診、検査の説明、採血や尿の検査、後日の結果説明です。
- ・検査結果が陽性であれば、保健所では治療はできないのでクリニックや病院を受診しましょう。

全国保健所の検索はこちらから→

保健所

検索

保健所管轄区域案内 - 厚生労働省ホームページ



2 クリニックや病院を受診する。

- ・保健所には相談せず、直接受診してもいいです。
- ・産婦人科、泌尿器科、皮膚科、内科、性病科等を受診しましょう。
- ・直接受診するのが不安であれば、まずは電話で相談しましょう。受診可能かどうかや手順を説明してくれます。



part 2

性感染症の特徴

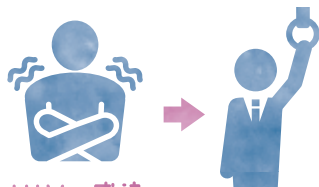


HIV感染症、AIDS(エイズ)、 後天性免疫不全症候群

原因 ヒト免疫不全ウイルス(エイズウイルス、HIV)。

予防法 性行為の最初からコンドームを付けること
ですが、完全には予防できません。

かかったらどうなる 男子・女子同じです。感染して
2～4週間後にカゼやインフル
エンザのような症状がでますが、自然に治まります。
数年後に体力や抵抗力の低下によるいろいろな病気が
発生します



HIVに感染

カゼやインフルエンザの
様な症状がでます

症状が出ない期間

自覚症状がないまま病気が
進行します。免疫力も徐々に
低下します。

自覚症状がないので
他人にうつす危険があります!

エイズが発症

体力や抵抗力の低下による
いろいろな病気が発生します



治療しないと、平均数年～10年程度で発症します

母子感染 妊娠中・出産時・授乳中に赤ちゃんにもうつ
ります。妊婦健診で採血検査します。

相談する場所 男女とも保健所や内科。女子は産婦人科
でも、男子は泌尿器科でもよい。

検査方法 まず1次検査で採血し、結果が陽性なら2次
検査で再度採血します。1次検査で陽性にな
った約40人のうち1人のみが本当の陽性で、残り
は偽陽性(本当は陰性)です。パートナーにも話をし
て検査してもらいましょう。

治療方法 専門内科医で飲み薬をもらう。毎日きちんと
飲み続けないと、悪化します。

将来 ウイルスをコントロールできれば、一般の人
とほぼ同じくらいに長生きできます。

こんなことでは感染しません

HIVは感染力の弱いウイルス
ですので、日常的な生活での
接触では感染しません。



せき・くしゃみ



蚊に刺される



プール・お風呂



ハグ・軽いキス



トイレの便座



一緒にスポーツ

正しい知識をもつ
ことが大切です!



梅毒



原因 梅毒トレポネーマ。

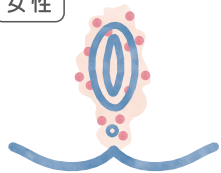
予防法 性行為で粘膜や皮膚の小さな傷口からかかります。コンドームはあまり効果がありません。

かかったらどうなる 男子・女子同じです。感染して約1か月後に、性器・口・肛門などに、できもの・しこり・ただれなどができますが、痛みやかゆみはなく自然に消えてしまいます。約3か月後に、手のひらや足の裏をはじめ全身にじんましんのような赤い発疹が出ます。この時期には必ず気づいて受診しましょう。

男性

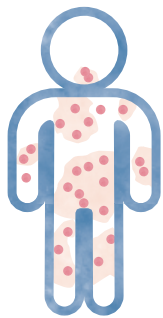


女性



全身に症状

全身にじんましんのような症状が現れたら必ず受診！



母子感染 妊娠中・出産時・授乳中に赤ちゃんにもうつります。妊婦健診で検査します。

相談する場所 男女とも皮膚科。女子は産婦人科でも、男子は泌尿器科でもよい。

検査方法 採血検査。偽陽性(本当は陰性)はほぼありません。パートナーにも話をして検査してもらいましょう。

治療方法 飲み薬をもらう。1か月から数カ月の治療が必要です。

将来 治りますが、採血検査では陰性にはならず、陽性のまま残ります。



飲み薬
(1か月～数カ月)



性器クラミジア感染症



原因 クラミジアトラコマチス。
わが国で最も多い性感染症です。妊娠女性の5%が感染しています。

予防法 コンドームはやや効果があります。性行為で女子では子宮や卵管やおなかの中に、男子ではおちんちんや精巣にうつります。出産中には赤ちゃんの目や肺にもうつります。

かかったらどうなる 男女とも症状がほとんどありません。男子では尿道のかゆみや軽い痛みや膿が出ることもあります。女子ではおりものが増えて黄色くなります。腹痛が有ったり妊娠できないこともあります。

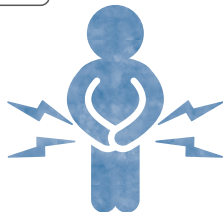
男性



尿道のかゆみ

尿道のかゆみや軽い痛みや膿が出る

女性



おりものの異常

おりものが増えて黄色くなり、腹痛が有る場合も。

母子感染 出産中に赤ちゃんにもうつります。目の結膜炎、特に肺炎をおこすと重症になります。妊婦健診で検査します。

相談する場所 女子は産婦人科、男子は泌尿器科。

検査方法 女子は産婦人科で膣から、男子は泌尿器科でおちんちんから綿棒で検査します。偽陽性（本当は陰性）はほぼありません。パートナーにも話をして検査してもらいましょう。

治療方法 飲み薬をもらう。1回飲めば治ります。

将来 治りますが、何度でもうつります。



飲み薬
(1回)

淋菌感染症

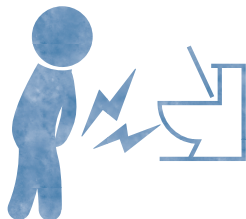


原因 淋菌(りんきん)。

予防法 コンドームはやや効果があります。性行為で女子では腔に、男子ではおちんちんにうつります。出産中に赤ちゃんの目にうつります。

かかったらどうなる 女子では症状がほとんどありませんが、おりものや尿道から膿がでます。卵管炎になり不妊にもなります。男子では尿道のかゆみや熱感から始まり強い痛みと膿がでます。精巣の炎症で不妊にもなります。

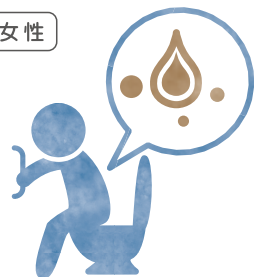
男性



尿道の痛み

尿道のかゆみや熱感、強い痛みや膿が出る

女性



おりものから膿が出る

症状はほとんどありませんがおりものや尿道から膿がでます

母子感染 出産中に赤ちゃんにうつり、目の結膜炎をおこします。妊婦健診では普通は検査しません。

相談する場所 女子は産婦人科、男子は泌尿器科。

検査方法 女子は産婦人科で腔から、男子は泌尿器科でおちんちんから綿棒で検査します。偽陽性(本当は陰性)はほぼありません。パートナーにも話して検査してもらいましょう。

治療方法 1回の点滴治療が1週間の飲み薬で治ります。

将来 治りますが、何度でもうつります。



点滴
(1回)



飲み薬
(1週間)



性器ヘルペス感染症

原因 単純ヘルペスウイルス。
性行為の多様化で1型(口唇ヘルペス)と2型(性器ヘルペス)の区別はできなくなってきました。

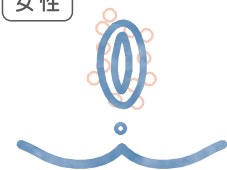
予防法 コンドームはあまり効果がありません。性行為で口や膣やおちんちんにうつります。

かかったらどうなる 性器に水ぶくれができ、痛みがあります。症状が出ないこともあります。一度かかると治った後でもウイルスは体の中に残り、体調が悪くなると再発して症状が出ます。

男性



女性



体調が悪いと症状が出る

一度治っても体調が悪くなると再発し症状が出てきます

母子感染 出産中に膣から赤ちゃんにうつり、重症化することがあります。帝王切開が奨められます。妊婦健診では症状が出ていれば検査します。

相談する場所 女子は産婦人科、男子は泌尿器科。口の水ぶくれは皮膚科や内科。

検査方法 水ぶくれの内容液を綿棒で採取し、検査します。採血検査も可能です。偽陽性(本当は陰性)はほぼありません。パートナーにも話をして検査してもらいましょう。

治療方法 軽症なら飲み薬で10日間、重症なら点滴治療7日間。

将来 水ぶくれは治りますが、1型では20%、2型では80%で1年以内に再発します。



尖圭(せんけい)コンジローマ



原因 ヒトパピローマウイルス(HPV)。

男女ともに80～90%は生きている間にこのウイルスに感染します。100種類以上の型があり、そのうちの16型や18型などの15種類くらいが悪い(ハイリスク)タイプです。たまたまこのタイプに感染した場合は、子宮の前がん状態やがんになる可能性があります。その他は悪くない(ローリスク)タイプで、6型と11型がコンジローマをおこします。

予防法 コンドームはあまり効果がありません。性行為で膣、おちんちん、肛門にうつります。現在かかっているHPVには効きませんが、HPVワクチンをうつと、このウイルスに再びかかることを予防できます。このワクチンは世界中で認められているのに、日本では打つ人があまりにも少ないのが問題です。

かかったらどうなる 性器(膣、おちんちん、肛門)に鶏のトサカのようなイボがたくさんできます。痛みやかゆみはありません。

男性



女性



母子感染 出産中に膣から赤ちゃんにうつります。1～2歳頃に気道にコンジローマができ、呼吸ができず突然死することがあります。再発性呼吸器乳頭腫症や多発性喉頭乳頭腫といいます。

相談する場所 女子は産婦人科、男子は泌尿器科。

検査方法 性器にできたイボを切り取って顕微鏡で検査します。子宮やおちんちんから分泌液をとってHPVの型を検査する方法もあります。パートナーもイボがあれば、検査をしましょう。

治療方法 イボの部分にクリームを塗る。治るまで2カ月くらいかかる。膣の中などクリームが塗れない部位や、クリームで治らない場合は、イボを切り取るか、レーザーや電気メスなどで焼きとります。

将来 若い女性に多く、何度でも感染します。また再発することがあります。ワクチンを打てばかかりません。



塗り薬



医療処置



トリコモナス症



原因 トリコモナス原虫。
膣や尿道に感染します。

予防法 コンドームはあまり効果がありません。性行為だけでなく、下着やタオル、便器やお風呂でもうつります。

かかったらどうなる 女子では膣から黄緑色で泡状のおりものがでます。陰部のかゆみが強く痛みもあります。男子ではおしっこを出すときに痛みがあります。50%は症状がありません。

母子感染 妊婦がかかる可能性は低いです。妊娠中や出産時でも赤ちゃんにうつる可能性はありません。

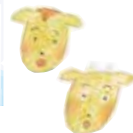
相談する場所 女子は産婦人科、男子は泌尿器科。

検査方法 膣やおちんちんからの分泌物を綿棒でとって、顕微鏡でトリコモナス原虫を確認します。数本の鞭毛という毛をもったミジンコのような生き物が観察できます。パートナーにも話をして検査してもらいましょう。

治療方法 女子では膣内に錠剤を入れます。男子では飲み薬です。治療は10日間くらいです。

将来 かかっても免疫はできないので、何度でもかかります。

性器カンジダ症



原因 真菌カンジダ(カビの一種)。

予防法 健康な人でもかかっている場合があります。コンドームはあまり効果がありません。性行為だけでなく、下着やタオル、便器やお風呂でもうつります。バスタオルなどの共用は避けましょう。

かかったらどうなる かかってもすぐには症状が出ません。何年かかかることがあります。他の病気や妊娠などで抵抗力が低下した時に症状が出ます。女子では外陰や膣のかゆみと、白色でヨーグルトのようなおりものが出ます。痛みもでることがあります。男子では陰部のかゆみが強く、痛みもありますが、症状のないことが多いです。

母子感染 妊娠中や出産時でも赤ちゃんにうつる可能性はありません。

相談する場所 女子は産婦人科、男子は泌尿器科や皮膚科。

検査方法 パートナーも症状があれば検査してもらいましょう。膣や陰部の分泌物を綿棒でとって、顕微鏡でカビを確認します。培養検査もできます。

治療方法 女子では膣内に錠剤を入れます。男女とも陰部のかゆみにはクリームを塗ります。治療は一週間くらいです。

将来 かかっても免疫はできないので、何度でもかかります。

B型肝炎



原因 B型肝炎ウイルス(HBV)。

予防法 B型肝炎ウイルスは、血液・精液・腔おりものに多く含まれているので、セックスや注射針の回し打ちがうつる原因になります。予防ワクチンがあり、2016年から乳児の定期予防接種になりましたので、赤ちゃんにワクチンを打ちましょう。

かかったらどうなる 1か月後くらいから、全身のだるさ、微熱、吐き気、食欲低下があります。その後、目や皮膚が黄色くなる黄疸(おうだん)がでます。1か月くらいでよくなりますが、時には重症化して劇症肝炎になり死亡することもあります。症状がはっきりしないまま慢性化することもあります。

母子感染 妊娠中や出産時に赤ちゃんにうつる可能性があり、B型肝炎ウイルスにかかっているお母さんが出産した場合は、赤ちゃんに感染予防のための注射をします。帝王切開術や母乳の停止は不要です。B型慢性肝炎は、赤ちゃんの時期に感染した場合がほとんどです。

相談する場所 男女ともに内科。妊婦さんは産婦人科。

検査方法 採血して検査します。妊婦健診でも検査します。

治療方法 注射による治療。

将来 全国に150万人のウイルスキャリアがあり、慢性化は5%程度で、10年～30年後に肝硬変や肝がんになることがあります。

C型肝炎



原因 C型肝炎ウイルス(HCV)。

予防法 ワクチンはないので予防は難しいです。血液製剤の輸血などの医療が原因で感染していましたが、1992年以降は献血のときに検査するので、感染は減少し、現在は母子感染が主です。

かかったらどうなる 自覚症状に乏しく、だるさや食欲低下のある人は約10%しかいません。10年～20年後に肝硬変や肝がんになることがあります。慢性肝炎の60%はC型です。

母子感染 わが国の妊婦でC型肝炎にかかったことがあるのは1%以下です。そのうち、ウイルスの断片が残っていない場合は、赤ちゃんにうつりませんが、70%に断片が残っており、そのうちの約10%で母子感染します。

相談する場所 男女ともに内科。妊婦さんは産婦人科。

検査方法 採血して検査します。妊婦健診でも検査します。

治療方法 注射による治療。

将来 全国に200万人のウイルスキャリアがあり、慢性肝炎から、肝硬変や肝がんになることがあります。肝がんでの死亡者の7割がC型肝炎ウイルス感染者です。

A型肝炎



原因 A型肝炎ウイルス(HAV)。

予防法 A型肝炎ワクチンが予防に効果的です。かかってから2週間以内であれば感染後でもワクチンの発症予防効果があります。感染した人の便にウイルスがいるので、衛生環境の悪い地域での食べ物(特に貝など)に気を付けましょう。アナルセックスやオーラルセックスでもうつります。

かかったらどうなる 2週間から1か月後に、強い全身のだるさ、熱、吐き気、食欲低下があります。その後、目や皮膚が黄色くなる黄疸(おうだん)がでます。

母子感染 妊娠中や出産中に赤ちゃんにうつる可能性はありません。

相談する場所 男女ともに内科。

検査方法 採血して検査します。

治療方法 安静のみで自然によくなります。重症化はまれです。

将来 免疫ができ、10年くらいは再びうつることはありません。

アメーバ赤痢、赤痢アメーバ症



原因 赤痢アメーバ原虫。

予防法 ワクチンや予防薬はありません。便に潜んでいてうつります。衛生環境の悪い地域での食事やアナルセックスやオーラルセックスが原因なので、これらを避けましょう。コンドームの効果は不明です。

かかったらどうなる 2週間後に腹痛や下痢を起こします。便はイチゴゼリーのようです。

母子感染 妊婦が治療されていれば母子感染はありません。

相談する場所 男女ともに内科。

検査方法 便を検査します。

治療方法 飲み薬を1週間。

将来 かかっても免疫はできないので、何度でもかかります。

細菌性膣症



原因 普段体内にいる菌が膣で繁殖する。

予防法 病気や妊娠などで抵抗力が落ちたときに菌が繁殖するので、体調維持に気を付けましょう。コンドームの効果は不明です。

かかったらどうなる 半数は無症状です。おりものが増えます。流産や早産を起こす場合があります。

母子感染 子宮内に炎症が広がり、早産することがあります。赤ちゃんに肺炎などを起こす場合があります。

相談する場所 女子は産婦人科。

検査方法 膣のおりものを検査します。

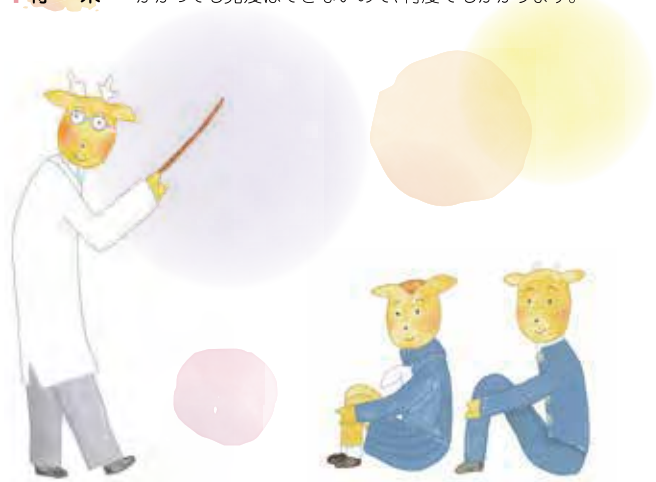
治療方法 1週間、膣に錠剤を入れます。

将来 かかっても免疫はできないので、何度でもかかります。



ケジラミ症、毛虱症(けじらみしょう)

- 原因** ケジラミという陰毛にしがみつく吸血昆虫。
- 予防法** 感染しているパートナーとのセックスを避けること。家族でも触ったり、シーツやタオルの共用でもうつります。コンドームは無効です。
- かかったらどうなる** 陰部がかゆくなります。湿疹はありません。
- 母子感染** 妊婦が治療していれば母子感染はありません。
- 相談する場所** 女子は皮膚科や産婦人科、男子は皮膚科や泌尿器科。
- 検査方法** 数本脱毛して、毛根にしがみついた虫を顕微鏡で確認します。
- 治療方法** 2週間薬を塗ります。薬局で販売しているシャンプーやパウダーでも治療できます。
- 将来** かかっても免疫はできないので、何度でもかかります。



疥癬(かいせん)

- 原因** ヒゼンダニ(疥癬虫)が皮膚に入り、潜んで産卵する。
- 予防法** 性行為でかかるのは10%くらいで、コンドームは無効です。多くはタオルや寝具の共用でかかります。病院や施設での集団感染の可能性があります。
- かかったらどうなる** 指の間や性器など首から下の全身の皮膚に、赤いブツブツができ、とてもかゆくなります。手に数ミリのミミズばれのようなかゆい発疹ができます。
- 母子感染** 妊婦が治療していれば母子感染はありません。
- 相談する場所** 男女ともに皮膚科。
- 検査方法** 発疹をこすって組織を採取し、顕微鏡で虫や卵を確認します。
- 治療方法** 患者さんと接触者を含めて、飲み薬を1回、さらに全身にローションを塗ります。
- 将来** かかっても免疫はできないので、何度でもかかります。



軟性下疳(なんせいげかん)

- 原因** 軟性下疳菌。
- 予防法** 戦後国内の報告は稀です。東南アジア・アフリカ・南米では、梅毒より多い地域もあります。性行為でかかる輸入感染症です。コンドームの効果は不明です。
- かかったらどうなる** 2日ほどで、男子ではおちんちんに、女子では膣の周りに潰瘍ができ、2週間後には鼠径のリンパ節が腫れます。ともに強い痛みがあります。
- 母子感染** 情報が少なく、不明です。
- 相談する場所** 男女ともに皮膚科。
- 検査方法** 綿棒で潰瘍から分泌物を採取し、顕微鏡で菌を確認します。性器ヘルペスや梅毒と区別することが大切です。
- 治療方法** 1週間以内の飲み薬で治ります。
- 将来** かかっても免疫はできないので、何度でもかかります。梅毒やHIVに同時感染している場合もあります。

性器伝染性軟属腫(なんぞくしゅ)、水イボ

- 原因** 伝染性軟属腫ウイルス。
- 予防法** 水イボがあるヒトとの性行為やタオルの共用を避けましょう。子供の10%くらいがかかるようです。
- かかったらどうなる** ウイルスが皮膚から侵入し、2週間から数か月後に陰部周囲の皮膚に多数の水イボができます。イボは5mmくらいで中心がへこんでおり、つぶすと白い塊が出ます。
- 母子感染** 母子感染がなかった報告はありますが、情報が少なく、不明です。
- 相談する場所** 男女ともに皮膚科。
- 検査方法** 確立した診断方法はありません。イボの特徴的なかたちから診断は簡単です。
- 治療方法** 治療薬はありません。ピンセットでつまんでとります。切り取ることもあります。
- 将来** かかっても免疫はできないので、何度もかかることがあります。自然に治るまで数カ月以上かかります。



part 3

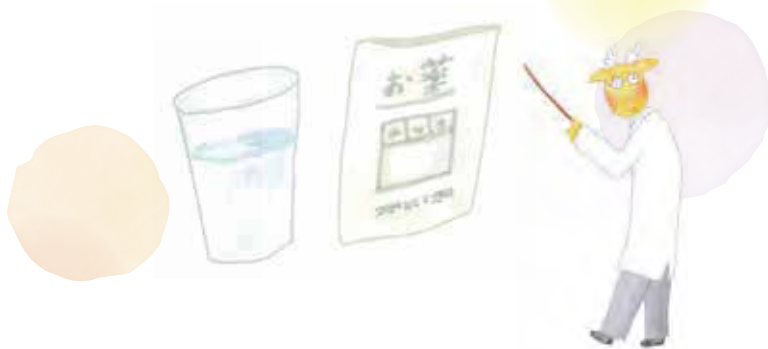
性感染症ではないが、
妊娠や赤ちゃんに影響する
一般感染症の特徴





サイトメガロウイルス感染症

- 原因** サイトメガロウイルス(CMV)。
- 予防法** 母乳、子どもの唾液や尿、輸血などから感染します。予防法はありませんが、妊娠中は子供の唾液や尿にさわらないようにしましょう。
- かかったらどうなる** ほとんどもが幼児期に感染します。妊娠可能女性の70%が既に感染しています。症状はありません。
- 母子感染** 未感染女性が妊娠中に感染する確率は2%です。その約40%で母子感染します。胎児の発育が悪かったり様々な異常が起こります。出生時に症状がなくても難聴や精神発達遅延がでてくる可能性があります。
- 相談する場所** 妊娠女子は産婦人科。男子は心配なしです。
- 検査方法** 妊婦健診で採血検査する場合がありますが、一般的ではありません。
- 治療方法** 子供や大人は症状がないので治療する必要はありません。先天性感染児の90%が発達障害や難聴などの後遺症が残ります。飲み薬や点滴の治療法があります。



トキソプラズマ症

- 原因** トキソプラズマ原虫。
全人類の3分の1が感染していますが無症状です。
- 予防法** 妊娠中は特に、肉の生食や猫などの糞との接触を避けましょう。
- かかったらどうなる** 妊娠中に初感染しても無症状ですが、約30%で赤ちゃんに感染します。
- 母子感染** 妊娠中に感染することで、流産や死産になることがあります。生まれた後に精神発達障害、視力障害、脳性麻痺になることもあります。
- 相談する場所** 妊娠女性のみ産婦人科。
- 検査方法** 妊婦健診で採血検査する場合がありますが、一般的ではありません。
- 治療方法** 初感染した妊娠女性は飲み薬を出産まで続けます。





風疹、三日ばしか

- 原因** 風疹ウイルス。
風疹ワクチンによって、かかることが少なくなった一方で、ワクチンを打っていない人や打っていても抗体価が低下している人はかかりやすいので、大流行することがあります。

- 母子感染** 妊娠20週以前にかかると、赤ちゃんが難聴・白内障・先天性心疾患などの先天性風しん症候群を持って生まれてくる可能性が高くなります。妊娠前に免疫があるか採血検査で確認しましょう。



麻疹、はしか

- 原因** 麻疹ウイルス。
空気感染するので感染力が非常に強いので、隔離が必要です。免疫のない人が感染すると90%以上で発病します。かかると一生免疫ができます。麻疹ワクチン接種によって、2015年以降かかることはほとんどなくなりました。

- 母子感染** 妊娠中に麻疹に感染すると、30%が流産や早産になります。生まれて10日以内に発疹が出た場合に、先天性麻疹ですが、発熱などで症状は軽度です。



空気感染のリスクがある感染症もあります。



水痘・带状疱疹、水疱瘡(みずぼうそう)

- 原因** 水痘・带状疱疹ウイルス(VZV)。
空気感染や接触感染でうつります。ほとんどが子供の時期に感染します。ワクチンは希望者のみの任意接種です。ワクチンを打っても20%は感染しますが、軽症で済みます。

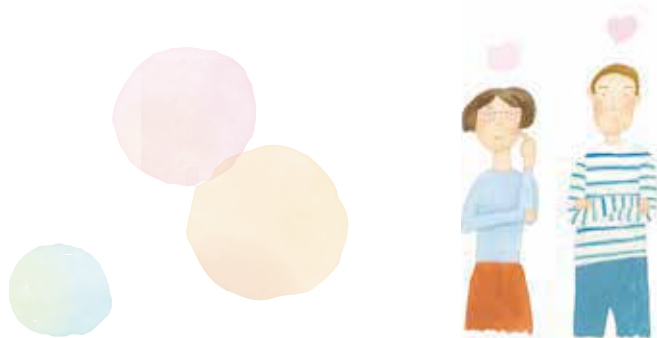
- 母子感染** 母子感染します。感染時期が妊娠中であれば、数%以下で先天性水痘症候群や乳児期带状疱疹になります。感染時期が妊娠10か月以降の場合では、20%で赤ちゃんに水痘が出て、出産直前の感染では、40%が重症になります。



成人T細胞白血病(ATL)

- 原因** ヒトT細胞白血病ウイルス(HTLV-1)。
母乳や性行為でうつります。全国に100万人以上のウイルスキャリアがいます。数十年後に成人T細胞白血病になる場合があります。発生率はキャリアの5%で、発生数は年間1,000人です。

- 母子感染** 感染者の20%は性行為によるもので、60%は母乳によるものです。母乳をやめる完全人工栄養が奨められています。





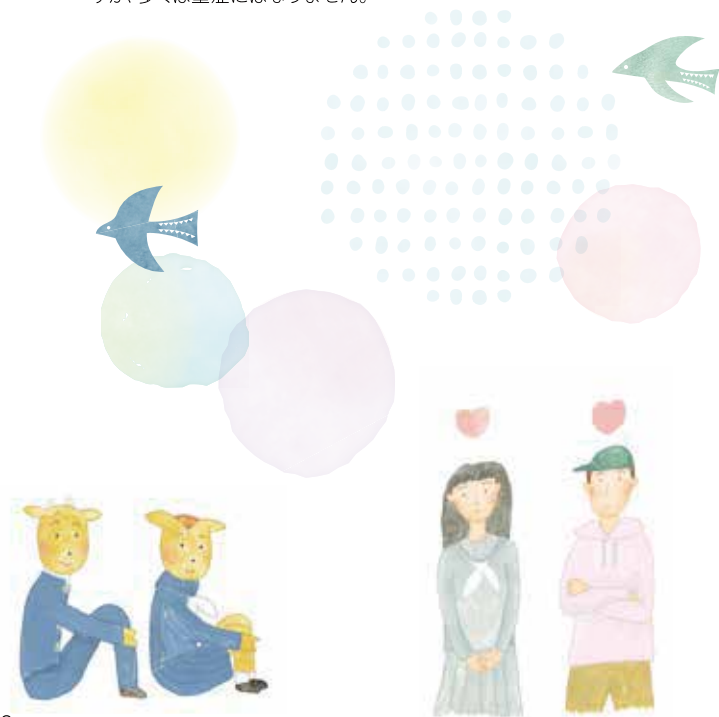
伝染性紅斑、リンゴ病

原因

ヒトパルボウイルスB19(PVB19)。
子どもの頬が赤くなるリンゴ病を起こします。4～5年周期で流行します。かかると一生免疫ができます。

母子感染

妊婦の抗体保有率は50%以下です。妊婦が初感染すると、約20%で母子感染し、4%で胎児の貧血や水腫が生じますが、多くは重症にはなりません。



分担研究:

「HIVをはじめとする性感染症と妊娠に関する情報の普及啓発法の開発」班名簿

氏 名	所 属
喜多 恒和	奈良県総合医療センター
桃原 祥人	JAとりで総合医療センター
塚原 優己	国立成育医療研究センター
渡邊 英恵	国立病院機構豊橋医療センター
羽柴知恵子	国立病院機構名古屋医療センター
廣瀬 紀子	山梨県立北病院
津国 瑞紀	国立病院機構仙台医療センター
佐野 貴子	神奈川県衛生研究所
鈴木ひとみ	国立国際医療研究センター
長與由紀子	国立病院機構九州医療センター
谷村 憲司	神戸大学医学部附属病院
森實真由美	美ら海ハニイ産婦人科
木内 英	東京医科大学
浅野 真	東京都立大塚病院

発行者: 令和2年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究」班、分担研究「HIVをはじめとする性感染症と妊娠に関する情報の普及啓発法の開発」班（研究分担者：喜多恒和 奈良県総合医療センター）

イラスト: 園田 千紘

研究班ホームページ: <http://hivboshi.org>

印刷: 吉岡印刷株式会社

〒639-2111 奈良県葛城市柿本 129

発行年月: 2021年3月 初版第一刷発行

2022年3月 初版第二刷発行

2022年6月 初版第三刷発行



研究班ホームページ

